

山口市議会報告

地域政党 **やまぐちの風**

Yamaguchi City Council Report

vol.16

発行責任者
山口市議会議員

竹中一郎

市議会で訴え、実現！

私は多くの市民の皆様の声を直接伺い、市議会で様々な政策の実現を訴えてまいりました。その中で、令和4年度予算として実現できた事業のうち、2つを紹介します。

第3弾「エール!やまぐち」プレミアム共通商品券の発行

新型コロナウイルス感染症の流行により疲弊する本市地域経済の浮揚に向け、直接、現場に足を運び、事業者の皆様の切実な声を肌で感じ、議会ごと、地域経済対策の必要性を訴え続けてきました。その結果、今回も第3弾となる「エール!やまぐちプレミアム共通商品券」の発行が実現しました。皆様の応援により、本市経済の元気を取り戻しましょう。

令和3年度3月補正 事業費 7億1千万円
発行総額 26億円



「やまぐち子ども未来型学習プロジェクト」の実施

未来を担う子どもたちのために、最新の情報通信技術を活用した教育はとても重要だと考えています。令和4年度も山口情報芸術センターと一緒に新しい学びを引き続き提供できることになりました。

令和4年度 事業費 約1千万円



撮影:田邊アツシ

森のDNA図鑑

植物を採取してそのDNA解析を行い、オリジナルの植物図鑑を作ることを通して、自然に対する複眼的な見方を学ぶワークショップです。



画像提供:YCAM 撮影:塩見浩介

「森のDNA図鑑」をもとにした 生雲の360°図鑑(生雲小学校)

1人1台のタブレット型パソコンを活用し、自分たちの住む地域を調べ、発見したことを、子どもたち手作りのウェブ図鑑にした取り組みです。

「未来の山口の授業at School」の取り組みは、本年度、市内小中学校2校のみの実施でしたが、令和4年度以降も引き続き、市内の他の学校においても展開し、山口ならではの新しい授業をYCAMと共に開発し、未来を担う「山口っ子」を育てる授業の実践を期待しています。

現場主義
竹中一郎

プロフィール

昭和39年(1964年)7月21日生
地域政党 やまぐちの風 代表
保険代理業 竹中一郎事務所 代表取締役

山口市立白石小学校卒
山口大学教育学部附属山口中学校卒
山口県立山口高等学校卒(管弦楽部)
福岡大学商学部卒
平成3年 有限会社恵美 設立 代表取締役
平成11年 山口商工会議所青年部会 会長
平成18年 山口市議会議員 初当選

Achiro's Eye
気づいたこと感じたこと

質問と答弁

Q u e s t i o n & A n s w e r

1 徳佐八幡宮のしだれ桜について



徳佐八幡宮の鳥居と満開のしだれ桜

▶質問

徳佐八幡宮のしだれ桜が国の名勝に指定される見込みである。指定を契機として地域活性化に向けた文化財の活用という観点から、どう取り組むのか伺う。

▶答弁

本市の国指定名勝は、今回のしだれ桜を含めると4件になるが、そのうち3件が阿東地域に集中している。これらの歴史文化資源は、活用の将来性が大変高いものと認識しており、戦略的かつ効果的に結び付けることで、地域内の回遊性を高め交流人口の増加につながるよう、地域、関係団体、所有者の皆様や庁内の関係部局と緊密に連携し取り組む。

▶議会での主張

マイクロツーリズムに着目し、民間事業者との連携で回遊性向上に取り組むべきである。

2 やまぐちアートコミュニケータの今後の展開について

▶質問

YCAMの事業展開にも活用することによりファンを増やし、文化芸術によるまちづくりをさらに活性化すべきと考える。市としてどのような方向性でこの取り組みを展開されるのか伺う。



山口駅前展示会場で作品鑑賞の様子

▶答弁

展示会場や中心商店街との回遊が促進され、新たな出会いや人の流れ、まちの賑わいを生み出し活性化につながり、文化芸術を起点としたまちづくりの先導的な事例となった。YCAMの開館20周年記念事業については、市民とアートの「つなぎ手」としてご活躍いただきたい。今後も、YCAMの知見や人材育成の成果を文化芸術のみならず観光振興や地域づくり等、多面的・横断的に波及させ多様な交流と新たな価値創造を図ってまいりたい。

▶議会での主張

YCAMとまちや地域をつなげる架け橋となるアートコミュニケータの中から次世代のまちづくり人材が育成されていくことを期待する。

3 県道山口防府線の渋滞解消について

▶質問

慢性的な交通渋滞が発生している状況であるが、市としてどのような対応を考えているのか伺う。

▶答弁

対策としては、車両通行帯の再検討や信号制御の調整、交通情報提供の充実による交通需要の調整といったことが考えられる。県とともに農業試験場跡地の新たな土地利用を踏まえた交通対策について検討を進め、それぞれの役割分担のもと必要な対策を講じてまいりたい。

▶議会での主張

農業試験場移転に伴う跡地利用が検討されており、早急な対策が必要である。

4 徳地やまのいもの振興について

▶質問

国の地理的表示保護制度(GI)に登録され、「食べるJAPAN美味アワード2022」で準グランプリを受賞した。どのように振興されるのか伺う。

▶答弁

これまで、生産組合に対し良質な種芋の確保やGIシール等の出荷資材の購入、販売促進用リーフレットの作成費用支援を実施した。新年度は、新規生産者の種芋購入や省力化のための機械器具等導入を支援するとともに、栽培技術の継承や新たな加工品の開発に向けた調査・研究にも取り組む。



徳地やまのいも 画像提供 山口市

▶議会での主張

生産者数や栽培面積を増加させ、安定した生産体制を整える必要がある。

5 地域経済の対策について

▶質問

本市の地域経済の現状をどのように認識しているのか伺う。その認識を踏まえて本市における経済対策及び今後の取り組みにおいて、特に重視している点について伺う。

▶答弁

幅広い業種において売上の減少、人手不足等影響が出ていると認識している。国の「事業復活支援金」や子どもを看護される従業員のための「小学校休業等対応助成金」等ワンストップでの案内や周知を実施している。幅広い業種への支援に重点を置き取り組む。

▶議会での主張

現場の声に謙虚に耳を傾け、柔軟な経済対策を講じるべきである。

